

消防からのお知らせ

火気取扱の注意点について!!

①外出時には必ず火の元を確認しましょう!

年末年始は外出することが多くなり、家を留守にしがちです。留守にする前にはガスの元栓を閉めたり、暖房器具の消火確認などを確実にやり、火事を未然に防ぎましょう。

②LPガスの漏えい事故に注意しましょう!

LPガスを屋外に設置していると、落雪などによって容器や配管が破損し、ガス漏れが発生する恐れがあります。落雪などの影響を受けそうな場所に設置されている場合は業者に連絡して設置場所を変更したり、落雪などが起きた場合には更なる落雪などに注意しつつLPガスを確認しましょう。

車で外出する際の注意点について!!

暴風雪や地吹雪が発生すると、視界全てが真っ白になる「ホワイトアウト」という現象により、車の運転が困難となり大変危険です。

このような状況に遭遇した場合は、以下のことに注意しましょう。

<車の運転が困難なとき>

①無理に運転をしない

近くのコンビニや道の駅など安全な建物に避難し、天候の回復を待ちましょう（気象情報や道路情報を確認する）。

②立ち往生してしまったときは

ハザードランプの点滅、停止表示板を置くなど、周りの車に位置を知らせるとともに、救助が必要であれば消防に連絡しましょう。

③吹き溜まりに注意

道路の吹き溜まりが深くなると、車の走行が困難になることがあります。道路の吹き溜まりが20cm程度でも前進できなくなることがあります。



<車内で救助を待つ時>

①原則エンジンは停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを停止することが大切です。防寒着、毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



②一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれた時にエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



③エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ず、エンジンをかけるときは、排気管出口を確実に大気へ開放し追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



④窓をあけていても絶対安全とは言えない

風向きにより窓を開けていても排気ガスの侵入により、窓を閉めている時よりも一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。



住宅用火災警報器の維持管理をお願いします!!

製造年から10年以上経過した住宅用火災警報器は電子部品などの劣化により火災を感知しない恐れがあるため、本体の交換を推奨しております。また、定期的な掃除や作動確認といった点検も心がけましょう!

※まだ未設置であれば早期設置をお願いします。



防火・防災教室 受付中です!!

消防署では、消火器の取扱いや火災・地震発生時における対応等について学ぶ防火・防災教室を受付けています。ご要望があれば、お気軽にご相談ください。

◎問い合わせ先 留萌消防組合小平消防署 (☎ 56-2221)、鬼鹿支署 (☎ 57-1253)